

令和5年度 児童発達支援自己評価表

長野市篠ノ井愛の樹園

		チェック項目	はい	どちらとも 書えない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		定員に対して総面積は十分ですが、建物の構造上クラスの教室の面積に差があり人数によっては手狭になってしまう事もあり、園児のグルーピングや活動場所の工夫で対応し
	2	職員の配置数は適切であるか	○			国で定められた基準以上の配置をしています。園児2名に対し職員1名を基本に配置しているため、丁寧に関わることができています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			建物の古さや構造等で難しい部分もありますが、できる限り園児が「何を、どこで、どうしたらよいか」がわかって動ける環境づくりを行っています。環境の構造化だけでなく「いつ」「何をするのか」等その日のスケジュールや活動を可視化する時間の構造化も園児一人一人の理解に応じて行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			生活空間の標準の清掃はもちろん、園児のふれた玩具や物品、壁、ロッカーなどは毎日消毒をしています。建物の古さはあるが衛生面では清潔が保たれるように気を付けています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			実施するとともに、職員会議等で結果を周知し、業務改善等を検討、事業説明会にて保護者に結果や対策の説明を行っています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開して第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		○	来年度行う予定です。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			今年度は法人内児童発達支援事業所と合同での研修を年間2回行うと共に、専門職のモニタリングでのOJTは毎月行っています。また、法人内研修および外部の研修に参加しています。次年度はさらに充実させていく予定です。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			独自のアセスメントシートに基づくアセスメント、専門職のモニタリング、保護者面談、関係者会議での検討をもとに計画を策定しています。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	保護者に付けてもらうKIDS、独自のアセスメントシートに基づいたアセスメントのみとなっているため、法人内で検討していく予定です。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	15	活動プログラムが固定化の傾向があるか	○			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認して	○			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
関係機関や保護者との連携	20	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				該当児なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				該当児なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			保護者に同意を得られた家庭については、アセスメントシートを情報提供書としてお渡ししています。また、予定された移行支援会議には参加し、決められた会議が無くては、担当相談支援専門員に働きかけて移行支援会議を開催してもらうケースもありま
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			法人内の児童発達支援センターや児童発達支援事業所との連携をしています。	

携	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		近隣保育所と交流の計画はしましたが、感染症等で実施ができませんでした。幼稚園保育園との併用児が多い中で、日々の発達支援の重要性を考慮すると好ましい交流の実施が難しいと考えています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持って保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			
	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
保護者への説明責任等	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	33	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行って、父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	35	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域の方を招いての行事はありませんが、公民館など地域の資源の活用は積極的にしています。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施して、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	39	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			
	40	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか				該当児なし
	41	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
非常時等の対応	42	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	43	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			
	44					
	45					
	46					
	47					
	48					